

1 音読

学年		組		名前	
----	--	---	--	----	--

声に出して読んでみましょう。

平家物語（冒頭）

祇園精舎の鐘の聲、

諸行無常の響きあり。

娑羅双樹の花の色、

盛者必衰の理をあらはす。

おごれる人も久しからず、

ただ春の夜の夢のごとし。

たけき者もつひには滅びぬ、

ひとへに風の前の塵に同じ。

（作者不詳）

【解説】

祇園精舎の鐘の音には、永遠に続くものはないという響きがある。娑羅双樹の花の色は、盛んな者も必ず衰えるという道理を表している。権力を持った人も長く続くことはなく、それは、春の夜のゆめのようだ。武勇にたけたものもつひには滅びる。それは風の前にある塵と同じである。

「平家物語」は軍記物語の代表作です。平清盛を中心に平家一門の栄えては滅びいくありさまをえがいています。琵琶法師によって語られました。